

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします

施策	3	高齢者が社会参加できるまちにします	担当部(統括部)	保健福祉部
----	---	-------------------	----------	-------

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
高齢者が地域において、社会貢献など様々な活動を活発に行っています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	多くの高齢者が老人クラブやシルバー人材センターの活動内容を把握している	老人クラブやシルバー人材センターの活動が活性化している	多くの高齢者が地域活動に参加することの意義を理解している	多くの高齢者が何らかの地域活動に参加している	多くの高齢者が何らかの地域活動に積極的に参加している	多くの高齢者が何らかの地域活動に積極的に参加し、活発に活動している
実績	目標の通りの姿を実現できた					
多くの高齢者がいきいきと働いています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	高齢者の就業について、地域で理解されている	シルバー人材センターの会員が増加し、就業の場が確保されている	シルバー人材センターの会員の質が向上し、就業の場が拡大している	就業意欲があり、就業できる健康な高齢者が増加している	多くの高齢者に就業の場が確保されている	多くの高齢者がいきいきと働いている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
老人クラブ加入者数	目標	—	—	—	—	3,500人	3,600人	3,700人	3,800人	3,900人	4,100人
	実績	3,602人	3,475人	3,479人	3,463人	3,418人					
いきいきカレッジの修了者数	目標	—	—	—	—	90人	90人	90人	90人	96人	96人
	実績	86人	89人	87人	83人	89人					
シルバー人材センターの会員数	目標	—	—	—	—	1,120人	1,140人	1,160人	1,180人	1,200人	1,300人
	実績	936人	1,059人	1,126人	1,107人	1,136人					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎地域活動の促進・人材育成										平成25年度事業費計	
										6,288千円	
老人クラブをはじめ、高齢者の健康づくりや生きがいづくりなどをめざす地域の自主グループの活動を支援します。また、高齢者が自らの教養を深め、培った知識や技能を生かして、地域社会活動のリーダー的役割を果たし、多世代交流の中で活躍できる取組みを展開します。											
平成25年度事業 老人クラブ活動事業4,738千円・地域介護予防活動支援事業350千円・ふれあいの里老人大学事業1,200千円(高齢介護課)											
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度					
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度					
計画	老人クラブ活動の支援の実施	老人クラブ活動の支援の拡充	老人クラブ活動の支援の拡充	老人クラブ活動の支援の評価	老人クラブ活動の支援の拡充	老人クラブ活動の支援の評価					
取組実績	各種スポーツ教室、演芸大会、作品展の開催、清掃活動、こどもの見守り活動などの実施した。										
成果	自らの健康づくり、いきがいづくりを行うと同時に活動を通じて地域との連携を行うことができた。										
次年度課題	会員数が減少傾向にあるため、新たな会員の獲得が課題である。自治会、民生委員とも協力して地域における見守りを強化していく必要がある。										

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	健康づくり・介護予防グループの支援の実施	健康づくり・介護予防グループの支援の拡充	健康づくり・介護予防グループの支援の拡充	健康づくり・介護予防グループの支援の評価	健康づくり・介護予防グループの支援の拡充	健康づくり・介護予防グループの支援の評価
取組実績	いきいき体操の会を通じて、自主グループの活動支援を行った。また、健康づくりグループに対してスキルアップと情報交換のための研修会を開催した。					
成果	自主健康づくりグループが4つ立ち上がり、地域で継続して介護予防に取り組んでもらえるようになった。研修会の実施により既存の健康づくりグループの継続意欲が向上した。					
次年度課題	健康づくりグループの立ち上げのきっかけになっている「はつらつ元気アップ教室」の開催地の調整が必要である。					
計画	いきいきカレッジ(老人大学)のカリキュラムに認知症サポーター養成講座や地域ボランティア講座を編成	リーダー養成を意識した、いきいきカレッジの充実	リーダー養成を意識した、いきいきカレッジの充実	いきいきカレッジの評価	いきいきカレッジの充実およびOB会等の活動支援	いきいきカレッジ及び活動支援の評価
取組実績	いきいきカレッジのカリキュラムをより地域の問題や福祉関係の内容に変更した。					
成果	身近な・生活に役立てることのできる内容に変更したことで、受講生の地域づくりへの意欲が高まった。					
次年度課題	いきいきカレッジ修了後、継続して活動を行っていたりするような仕組みを検討する。					

◎高齢者の就労支援		平成25年度事業費計				
		17,557千円				
高齢者が今まで培った豊かな経験や能力を生かして就業や社会貢献ができるよう、シルバー人材センターの支援を図ります。						
平成25年度事業	シルバー人材センター事業17,557千円(高齢介護課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	シルバー人材センターの支援の実施	シルバー人材センターの支援の拡充	シルバー人材センターの支援の拡充	シルバー人材センターの支援の評価	シルバー人材センターの支援の拡充	シルバー人材センターの支援の評価
取組実績	平成24年度から公益社団法人化に向け準備を行った。					
成果	就業率が87.3%と一定の雇用が図れた。					
次年度課題	会員数に応じた仕事量の調整・PRが必要である。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

老人クラブとの連携による介護予防の推進					平成25年度事業費計 4,738千円	
老人クラブが主体的に介護予防事業に取り組み、市と連携して事業を展開します。						
平成25年度事業	老人クラブ活動事業4,738千円(高齢介護課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	老人クラブによる体力測定事業の拡充	老人クラブによる体力測定事業の拡充	老人クラブによる体力測定事業の拡充	老人クラブによる体力測定事業の拡充	老人クラブによる体力測定事業の拡充	老人クラブによる体力測定事業の拡充
取組実績	高齢者が自身の体力や能力を把握し、今後の介護予防活動に活かしてもらうために市内4地区、それぞれ年2回老人クラブによる体力測定を行った。					
成果	387人が参加し、参加者が自身の体力や能力を把握するとともに、介護予防についての理解を深めてもらった。					
次年度課題	継続して介護予防活動に取り組んでいける仕組みづくりを行う。					